



株式会社 キムラタン

第62回定時株主総会

2025年6月24日

2025年3月期 事業の経過及び成果

連結経営成績 売上高

アパレル事業は減収も不動産事業拡大により全社ベースで36.9%増収

	2024年3月期		2025年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	1,284	100.0%	1,758	100.0%	+473	+36.9%
売上総利益	548	42.7%	726	41.3%	+178	+32.5%
販管費	511	39.8%	591	33.7%	+80	+15.8%
営業利益	37	2.9%	134	7.7%	+97	+261.9%

連結経営成績 売上総利益

利益率は1.4ポイント低下となるが増収により前期比32.5%増加

	2024年3月期		2025年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	1,284	100.0%	1,758	100.0%	+473	+36.9%
売上総利益	548	42.7%	726	41.3%	+178	+32.5%
販管費	511	39.8%	591	33.7%	+80	+15.8%
営業利益	37	2.9%	134	7.7%	+97	+261.9%

連結経営成績 販売費・一般管理費

M&Aによる経費純増・関連費用の計上あるが経費率は△6.1ptの33.7%

	2024年3月期		2025年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	1,284	100.0%	1,758	100.0%	+473	+36.9%
売上総利益	548	42.7%	726	41.3%	+178	+32.5%
販管費	511	39.8%	591	33.7%	+80	+15.8%
営業利益	37	2.9%	134	7.7%	+97	+261.9%

連結経営成績 営業損益

不動産事業が牽引し増収効果により営業利益は261.9%増加

	2024年3月期		2025年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	1,284	100.0%	1,758	100.0%	+473	+36.9%
売上総利益	548	42.7%	726	41.3%	+178	+32.5%
販管費	511	39.8%	591	33.7%	+80	+15.8%
営業利益	37	2.9%	134	7.7%	+97	+261.9%

連結経営成績 営業外損益・特別損益

営業利益増により経常損益は前期のマイナスから黒字に転換

	2024年3月期		2025年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	1,284	100.0%	1,758	100.0%	+473	+36.9%
営業利益	37	2.9%	134	7.7%	+97	+261.9%
経常利益	△19	△1.5%	10	0.6%	+29	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	40	3.2%	△46	△2.6%	△87	—

セグメント別の概況 / 不動産事業

M&A等による収益増と既存物件のコスト減によりセグメント利益+99.4%

売上高

M&Aによる収益純増
販売用物件売却



13億70百万円 + 494百万円

セグメント利益

M&Aによる増収と
コスト低減効果



2億73百万円 + 136百万円

セグメント別の概況 / アパレル事業

店舗数の減少により減収。粗利益率低下により損失拡大

売上高

店舗数減少 9 店→5店



3億58百万円 前期比△21百万円

セグメント利益

経費削減△23百万円

粗利益率△7.2pt



△**97**百万円 前期比△11百万円

セグメント別の概況 / ウェアラブル事業

ウェアラブル導入施設は増加。システム改修費用等が先行し減益となる

売上高

導入施設
100施設→135施設



ウェアラブル前期比 + **14.9%**

セグメント利益

導入施設数増加に備え
システム改修費用先行



△ **1**百万円 前期比△3百万円

連結経営成績 / 総括

営業増益、経常黒字化も最終赤字。収益力強化・財務基盤構築が課題

	2024年3月期		2025年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	1,284	100.0%	1,758	100.0%	+473	+36.9%
営業利益	37	2.9%	134	7.7%	+97	+261.9%
経常利益	△19	△1.5%	10	0.6%	+29	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	40	3.2%	△46	△2.6%	△87	—

連結財政状態

M&Aにより総資産増加。期末自己資本比率は11.2ポイント

総資産

100億91百万円

前期末比 +17億87百万円

M&Aによる増加資産23億16百万円
販売用不動産、有形固定資産増加

負債

89億58百万円

前期末比 +15億75百万円

短期借入金 +3億85百万円
長期借入金 +10億44百万円

純資産

11億32百万円

前期末比 +2億11百万円

新株予約権行使 +263百万円
親会社株主に帰属する当期純損失
自己資本比率 11.0%→11.2%

事業報告、連結計算書類等

事業報告

設備投資の状況～会計監査人の状況

9～15ページ

連結計算書類

16～17ページ

計算書類

20～21ページ

2026年3月期 事業計画の概要

「衣・健・住」三本の矢を軸とした新たなビジネスモデル



衣

差別化・ブランド価値の再構築
図り収益性の改善につなげる

健

少子高齢化社会に対応した
事業領域の拡大

住

4つの収益モデルによる
安定的・成長可能な事業基盤

3領域への集中投資と他社との違いをつくり収益性の向上と持続的成長を目指す

「衣」差別化・集中による独自のブランド価値の確立



差別化集中戦略へと転換・独自の強みを活かしブランド価値を確立し競争優位性を高める

「健」 少子高齢化に対応したヘルスケア領域への展開



園児見守り事業

「cocolin」 保育施設の安心・安全を支援



室内見守り分野への拡大

熱中症対策を含む室内見守りへ事業領域拡大



高齢者向け見守りサービス

ミツフジ株式会社との資本・業務提携



新たな収益機会の創出

熱中症アラート機能搭載商品の提供

高齢化社会のニーズに応える製品開発により新たな収益機会を創出

「住」 4モデルを通じ安定的・成長可能な事業基盤を構築

賃貸不動産の保有

収益性の高い物件による
安定的キャッシュフロー獲得

マッチング プラットフォーム

個人と地元業者をつなぐ
収益化を目指す



空き家の再生・再販売

リノベーションによる
資源の有効活用と地方活性化

不動産小口化投資商品

再生不動産を証券化・小口化
地方創生等のビジネスに挑戦

4つの収益モデルを有機的に連携。地域再生モデルとして他社との差別化を図り成長を目指す

2026年3月期通期業績予想

新たなビジネスモデルのもと2026/3月期の増収・増益を目指す

	2025年3月期		2026年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	1,758	100.0%	2,800	100.0%	+641	+36.5%
営業利益	134	7.7%	310	11.1%	+175	+130.0%
経常利益	10	0.6%	160	5.7%	+149	—
当期純利益	△46	△2.6%	85	3.0%	+131	—



KIMURATAN